

要 望 書

平成29年4月20日

県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会
会 長 盛岡市長 谷藤 裕明 様

盛岡商工会議所・都南地域運営協議会
会 長 高 橋 善 躬



県央ブロックごみ処理施設整備候補地について

平成29年1月23日付にて盛岡商工会議所・都南地域運営協議会が県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会に提出した要望書につき、用地、並びに付帯施設案など追加にて次の通り要望します。

記

1. 住 所 〒020-0834 盛岡市永井 23-15-2
2. 氏 名 盛岡商工会議所 都南支所
都南地域運営協議会 会長 高橋善躬
※都南支所事務局 支所長 狐崎一彦
3. 電 話 019-638-3399
4. FAX 019-637-4608
5. E-mail ka7abcdh@ccimorioka.or.jp
6. 整備候補地住所 盛岡市下飯岡 19地割～20地割（住居地を除く）
7. 整備候補地概算面積 12.96 ha
8. 整備候補地写真又は面積 別紙のとおり
9. 整備候補地としてのメリット

① 国道46号、県道36号線に接し、構成市町に通ずる主要幹線道路へのアクセス条件に恵まれており、搬入車両が特定の道路に集中しない。

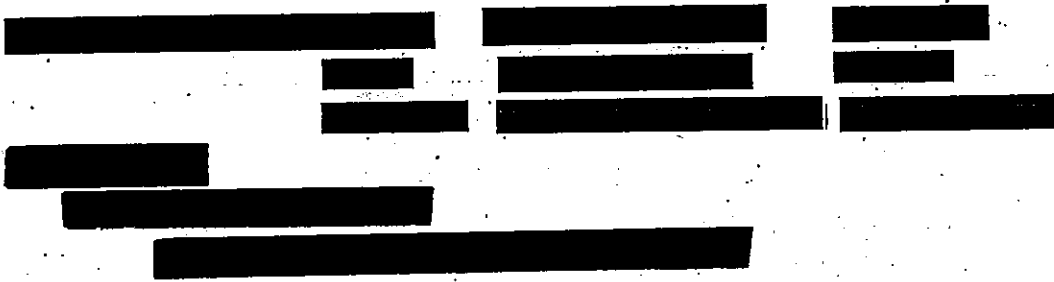


- ② 矢巾町・紫波町から直接搬入可能であり中継施設は不要である。
- ③ 上水道、下水道、電気など接続が容易で開発投資の経済性に優れている。4、市街地に隣接しているところから市民が日常的に触れ合える施設見学や環境学習の場を設けることによりゴミ行政や市政への理解浸透が図れる。

10. 土地所有者の情報

(現在候補地と決定されていないところから一部のみ。

決定前の所有者への接触や情報の開示について特段の配慮を求めます。)



11. 当該整備候補地の情報提供があったことの公表 可

12. 地域振興策(余熱利用等)の提供内容

①多目的体育館

3. 11津波の教訓から、余熱を活用した冷暖房を完備し災害発生時に避難所に転用活用できる多目的屋内施設は必須であり、温浴施設・プールに加え、高齢化社会に不足すると思われるリハビリ・トレーニング施設も併設した多目的体育館などは最適である。

② 通年型温室ハウス

施設から生じる温水を地域の先進的農業者に提供することにより通年でのハウス栽培が可能になり冬季でも新鮮野菜の供給基地となり得る。

③ 観光農園併設の産直施設

農地の付加価値向上が見込める事から通年型の観光農園や産直施設などへ世界遺産や温泉地、三陸海岸など北東北を視野に入れた旅行業界の呼び込みも可能となり農業振興だけにとどまらず地域経済の活性化に大きく貢献できる。

13. その他

耕作農業法人、地域構成団体などに対しては説明会を開催しゴミ処理施設は迷惑施設ではない旨の理解を得ており、地域活性化への活用について多数の賛同意見も多いところから、さらに引き続き地域住民への理解浸透に努めている。